

令和7年度 大阪府豊能二次医療圏保健医療協議会 議事概要

日 時 : 令和8年2月5日(木) 午後2時から午後4時

開催場所 : 大阪府池田保健所 2階 大会議室

出席委員 : 委員総数 34 名のうち 21 名出席(定足数 18 名であるため有効に成立)

辻委員、白水委員、中委員、加藤委員、岡本委員、加茂野委員、多田委員、
中村委員、岡村(俊)委員、今西委員、藤野委員、織田委員、田村委員、原委員、
岡村(武)委員、北川委員、渡邊委員、巽委員、藤田委員、松本委員、平手委員

■議題1 令和7年度「地域医療構想」の取組と進捗状況

資料に基づき大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明。説明後、質疑応答。

【資料1-1】令和7年度「地域医療構想」の進捗と医療体制の状況(大阪府・豊能二次医療圏)
【資料1-2】豊能二次医療圏における課題や取組状況等に係る各医療機関の回答(概要)
【参考資料1】過剰な病床の状況
【参考資料2】医療法上の過剰な病床の状況
【参考資料3】地域医療構想に関する各種データのHP公表について

<質問・意見等>

質問・意見は特になし。

■議題2 令和7年度豊能二次医療圏における各病院の今後の方向性

資料に基づき大阪府池田保健所から説明。説明後、質疑応答の上、各病院の対応方針について決議。

【資料2-1】令和7年度病院プラン結果概要(大阪府・豊能二次医療圏)
【資料2-2】令和7年度病院プラン医療機関別一覧(豊能二次医療圏)
【資料2-2(別添)】公立病院経営強化プランの策定等について(豊能二次医療圏)
【資料2-3】非稼働病床の現況について(豊能二次医療圏)
【資料2-4】令和7年度豊能二次医療圏病院連絡会結果(概要)
【資料2-4(別添)】令和7年度豊能圏域病院連絡会参加率と病院プラン提出状況
【参考資料4(別紙)】令和7年度病床機能再編支援事業の実施について
【参考資料5】令和6年度病床機能報告結果(有床診療所の報告状況)
【参考資料5(別紙)】令和6年度病床機能報告結果(豊能二次医療圏有床診療所の報告状況)

<1. 質問・意見等>

【各病院の対応方針(病院プランにおける2026年に向け検討している病床機能等)

(質問)

○病院連絡会でのグループ別協議は本当に必要なのか。病院長が年に一度しか集まらない貴重な機会を有効に活用できていないという意見がある。

○公立病院の回復期リハビリ病棟の稼働率が低い問題について、どのように改善すべきか。

(大阪府の回答)

- グループ別協議については、病院団体の先生方と相談しながら試行錯誤を続けており、地域での機能分化連携の協議を促進するための一環として行っている。
- 公立病院の回復期リハビリ病棟については、政策医療としての必要性を検証し、中期計画に位置づけるよう指導している。府としては、医療機関間の機能分化・連携を進めるための場づくりを今後も主導していく考えである。

(意見等)

○公立病院の回復期リハビリ病棟の稼働率が低いことは、民間病院が高い稼働率を維持している中で、見直しが必要だと考える。

<2. 決議結果>

・各病院の対応方針については全て合意となった。

■議題3 紹介受診重点医療機関の選定について

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課・大阪府池田保健所から説明。説明後、質疑応答の上、紹介受診重点医療機関の選定にかかる協議方針、紹介受診重点医療機関の選定について決議。

【資料3-1】紹介受診重点医療機関の選定について（豊能二次医療圏）

【資料3-2】令和7年度外来機能報告等 医療機関別報告状況（豊能二次医療圏）

<1. 質問・意見等>

【紹介受診重点医療機関の選定にかかる協議方針】

質問・意見は特になし。

【紹介受診重点医療機関の選定】

質問・意見は特になし。

<2. 決議結果>

(1)令和7年度外来機能報告結果等に基づく紹介受診重点医療機関の選定

【協議方針】

・協議方針について、事務局案のとおりとすることとなった。

【紹介受診重点医療機関の選定】

・市立池田病院、箕面市立病院、市立豊中病院、市立吹田市民病院、国立循環器病研究センター、関西メディカル病院、済生会吹田病院、済生会千里病院、吹田徳洲会病院、大阪大学医学部附属病院、大阪刀根山医療センターについて、紹介受診重点医療機関として選定することとなった。

■議題4 地域医療への協力に関する意向書等の提出状況

資料に基づき大阪府池田保健所から説明。説明後、質疑応答。

【資料4-1】地域医療への協力に関する意向書提出状況（豊能二次医療圏 診療所新規・既存開設者）

【資料4-1（別添）】＜医療機関別回答一覧＞地域医療への協力に関する意向書提出状況（豊能二次医療圏 診療所新規・既存開設者）

【資料4-2】医療機器の共同利用に関する意向書提出状況（豊能二次医療圏 医療機器新規購入・更新者）

【資料4-2（別添）】＜医療機関別回答一覧＞医療機器の共同利用に関する意向書提出状況（豊能二次医療圏 医療機器新規購入・更新者）

<質問・意見等>

質問・意見は特になし。

■議題5 第8次大阪府医療計画における取組状況の評価について

資料に基づき大阪府池田保健所から説明。説明後、質疑応答。

【資料5-1】2025年度第8次大阪府医療計画PDCA進捗管理票 豊能二次医療圏

【資料5-2】令和7年度豊能圏域在宅医療懇話会における主な意見（概要）

【資料5-3】積極的医療機関一覧（豊能二次医療圏）

<1. 質問・意見等>

質問・意見は、特になし。

<2. 協議結果>

令和8年度更新分の積極的医療機関一覧について、意見なし。

■議題6 令和7年度基準病床数の見直しの検討について

資料に基づき大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明。説明後、質疑応答。説明後、質疑応答。

【資料6】令和7年度基準病床数の見直しの検討について

<質問・意見等>

（質問）

○「直ちに病床整備を要する地域事情とまでは言えない」という意見は、二次医療圏

に対するものか、それとも大阪府全体に対するものか。

- 基準病床数の算定式において、病床利用率が低いと基準病床数が増えるという計算は正しいのか。

(大阪府の回答)

- 「直ちに病床整備を要する地域事情とまでは言えない」という意見は、豊能圏域に限ったものではなく、大阪府全体に対するもの。豊能圏域では二次救急の分野で圏域外に流出している実情があるため、来年度に地域医療構想の検討と基準病床数の整理を進める予定である。
- 基準病床数の算定式では、病床利用率が低いと基準病床数が増える計算になる。これは、患者数を病床利用率で割り戻すことで必要病床数を算出するためである。この算定式には課題があり、大阪府としても国に対して改善を求めているところ。

(意見等)

- 豊能圏域では急性期病床が不足しており、患者が圏域外に流出しているため、病床の増設が必要と考える。
- 基準病床数の算定式は、病床利用率が低い場合基準病床数が増加するという問題点があると感じる。これは、病床を休止している病院があると基準病床数が増加するという不合理な結果を招く可能性がある。

■議題7 令和7年度大阪府豊能地域救急メディカルコントロール協議会の報告

資料に基づき吹田市保健所から説明。説明後、質疑応答。

【資料7】令和7年度大阪府豊能地域救急メディカルコントロール協議会の報告

<質問・意見等>

質問・意見は特になし。

■その他

<質問・意見等>

(質問)

- 豊能圏域の公立病院の病床が多すぎるのが問題である中、公立病院間で意見交換を始めたとのことだが、公立病院だけでなく、民間病院も含めて検討すべき。今後、どのように検討し、解決策を考えていく予定か。
- 箕面市立病院の令和6年度の会計繰入金金が34億3600万円と突出している理由について、説明をしてほしい。

(大阪府の回答)

- 公立病院だけの議論は限界があるため、民間病院も含めた全体的な患者の流れを考慮した議論が必要。病院連絡会の場を活用し、より良い議論を進めていきたいと考えている。
- 箕面市立病院の会計繰入金については、箕面市立病院に確認を行い、詳細を把握したい。

(意見等)

- 公立病院は、民間病院では対応しにくいことを補助金を用いて行う役割がある。
- 地域医療構想を実現させるためには、公立病院の過剰な病床を民間病院の病床に転換することも含め、病床の適正化を考える必要がある。